

2016年6月19日（日）発表 著：岡本 悠 2016年5月7日（土）書き始め

岡本悠34歳のエッセイ

目次一覧

- ・ 仕事道4の1（しごとみち4の1）
 - ・ 仕事道4の2（しごとみち4の2）
 - ・ 仕事道4の3（しごとみち4の3）
 - ・ 仕事道4の4（しごとみち4の4）
 - ・ 仕事道4の5（しごとみち4の5）
 - ・ 仕事道4の6（しごとみち4の6）
 - ・ 仕事道4の7（しごとみち4の7）
 - ・ 仕事道4の8（しごとみち4の8）
-
- ・ 人生の意味
 - ・ だいたい同じ毎日について
 - ・ 「読書」は卒業できなかった。私の体質。スタバパニック。
 - ・ 「読書について」。(ゲーム機故障、ゲーム卒業。)
 - ・ 路頭に迷わないために、「仕事」「お金」「節約」等を考える。
 - ・ 「プロレスコラム」でビジネスは成り立つか
 - ・ デーモン（悪魔）との付き合い方、「まず、無理だ」から考える方がいい。
 - ・ 「ボランティア活動」について
 - ・ お葬式について
 - ・ まとめ

仕事道4の1（しごとみち4の1）

私は、今の仕事に「5年と半年」、通っている。（2016年6月1日時点）。つまり、28歳の2010年12月1日から、今の仕事場に通っている。（今、34歳。）人との衝突もなく、苦手な人も数人いるが、だいぶ慣れた。

去年はGW（ゴールデンウィーク）が終わった後、辞任届を出す等、1か月休ませていただいたりして、仕事場には迷惑をかけたが、通い直してからはたまたまだが、多分1度も休まず、遅刻もせず、この1年間は通えた。（でも無理するな、たまに休め、寝坊しろ）

「石の上にも3年」「風雪5年」を過ぎ、「7年・10年通えたらいいですね。」と上司とは話しあった。

私は、今の仕事は好きでも嫌いでもなく「普通」で、じゃあ、「辞めるか!」と言われたら、私は「ダイケア」や「違う職場」を探すしかないが、「好き」という感情を持った事はあまりない。たまに上司やメンバーさんが親切にしてくれた時に良いと思う事はあるが、「仕事場が好き」とウキウキする気持ちはないかもしれない。ただ、精神的には健康になるし、肉体的にも健康になる気がする。だから、好きであれ嫌いであれ、通った方がいいとは思っている。給料の為に。

例えば、私は「柔術」をやっていた時期があるが、「何の為にやっているのだろうか?」という状態に陥った。家で、1人でやっても面白くなく。じゃあ、「座禅」から人生を解き明かしてみよう。と方向転換したが、あまり続かなかった。そして、今の仕事を上記したように「5年半続いている。」これがネックだった。「今の仕事を人生の意味込りに持っていってみよう。」と考えたのだ。これなら、仕事と一緒にたるんだ腹の辛い腹筋運動をする必要もない。筋トレも必要ない。仕事と並列して「柔術」を習う必要もない。もちろん、やれる人はやればいいが。私は「それでもやっぱり好きではない普通の仕事」（極端に言えば嫌いな仕事を）人生の根幹に置いたのだ。確かに、できれば好きな仕事をして働きたいのは事実である。しかし、これもそうだが、「給料」を含め得るものは大きい。先ほども書いた「健康」やコミュニケーション、書き物の題材としての仕事というもの・・・等。そして力強いのはしつこいようだが、5年半通っているから、体がもう仕事場に行くモードの人間になっているという事だ。「継続は力なり。」である。7年通ったら、35歳。10年通ったら38歳位になっている。もし、その段階で、続ける意思があれば、通わせてもらえばいいし、違う道でお金を稼ぎたいと思ったら、しっかりとした基盤を作った上で、独立すればいい。今のところは7年・10年までの計画でそれから先は考えていないが、一生お世話になるのも1つだし、独立したいならば、今のうちから趣味の読書、コラム、物書き・・・等を真剣に磨いておく事も1つだ。私は対人関係が苦手なので、「人は1人では生きられない」という言葉に対し、あえて、「人は1人でも生きられる」と言っている。今の素直な気持ちは会社が（そんなに嫌でもないが）嫌なら、独立できる位、真剣勝負してみろ、とも言いたい。ただ、今は全てにおいてまだ力がないから、できるだけ約束の10年までは寄りかかればいい（終）

仕事道4の2（しごとみち4の2）

私は最近、仕事に行くのが楽しみになってしまったのだ。

もう少し、違う言い方をすれば、一番、大事な事に思える。

単純に今までの私が楽しめていなかったのだろう。これは5年半通って、私がもう趣味の方から独立して、何か書くとか、経営で成功して、今の会社を辞めてしまいたい、と思わなくなってきた事が挙げられる。

ただ、私も馬鹿ではないから、こういうエッセイなどを書いていると、自分の本が出来て独立できるかもしれない。とか、そういう考えの落とし穴に落ちるのは目に見えている。

ただ、最近、もっと今の会社に対して本気になろう、会社の為に働こう。ある範囲で皆さんと仲良くやっていけるようにしていこう、と考えている。

昇進なんかはいらない。リーダーになんかなれなくてもいい。まあ、自分をとにかく賄えるようになるのが目標で、その為に、まず時間や日数を増やして到達したいと思っている。もちろん、給料やボーナスは多い方がいい。でも、私は今の会社を「辞めろ！」と言われても辞めないかもしれない。

自分の中で、人生の意味の、中央・TOPに仕事が立った可能性がある。

仕事からは、まず、給料が入る。これは生きていく上で一番大きい。精神面・肉体面の健康にもなる。会社の人と話す事によってコミュニケーション能力が図れる・・・等、多岐に渡る。

もう、仕事が自分の中の、人生の意味や答え、生きがいを超えるTOPで大事な存在だと思える事が出来たら、もう何も嫌なものもないではないか。

それでも今後、嫌な仕打ちに会うかもわからない。それでも、大人の対応ができるのではないかとさえ感じてしまう。

仕事がとにかく1番なのだ。今はそう思っていればいいのだ。そうすれば、俺の中で嫌だった、嫌いだった、仕事という存在が好きになる。いや、もうなっている。

確かに、これから通う時間が増えるとか、日数が増えれば疲れ果てて嫌になってしまうかもしれない。だから、慎重に増やしていかなくてはならない。

先日も、上司にミーティングの司会を指名されたが、逆にそういう経験ができてやる気が出た。

元ヤクルト・スワローズ等で監督を務めた野村克也さんも、まず、「無視」そして「褒める」そして「叱る」と言っている。私の会社の上司は「叱る」という事まではしないから、非常に居心地が良い。「褒める」まででとめてくれる。決して野村さんを批判しているわけではない。

私は、仕事をこれからは1番に考え、今の会社を7年・10年・それ以上・一生通えたら幸せだ。もし、自分にやりたい事ができてしまったとしても、この今の会社を続けながら、取り組みたい。まあ、今の会社以外に働く事になったら、経験を活かしたいと思う。（終）

仕事道4の3（しごとみち4の3）

最近、改めて、今の仕事に行く事が嫌になってしまった。

1つは、自分が、1人で稼いで仕事をしたい。

2つは、人間関係。

3つは、早起き。

といったところだ。

自分が好きなやりたいビジネスをして、一人前に自分を養って生きていけたらどれだけいいだろうと思う。

例えば、私はプロレスが好きだから、「プロレスコラム」や「プロレス本」を kindle なりで、売って稼げたのならかなり自信になる。

ただ、私は構成や「、」や「。」などの配置、誤字の修正などは、自分でやっていく事になるだろう。でも、経営（本当は個人事業主といった方が適切かもしれないが、）をできると思うと、本を出せる事は楽しみなので、まだ実現するかわからないが、kindle 等で発表できる事を楽しみにしている。

さて、そうしてその夢を追う事を考えていると、今の会社へ行く気がなくなってくる。もう自分で会社を興してやってしまいたいのだ。会社を興すといっても、最初は本を kindle で出せるかどうかだけだから、パソコンと必要なものを揃え、場所も家の中でやれば良いと思っている。ただ、文章を習ったり、出版社に持っていったり、自費出版するつもりはないので、独学等になってくる。

あとは、要するに夢を掴むか、途中で諦めるかの問題だけになるだろう。

で、今の仕事には、給料の為に行っているとしか言いようがない。生理的に嫌いな人、あまり話さない人、新しい人・・・がいて、私は改めて、人間関係にうんざりしている。だから、自分から変わるしかないと思っている。できれば、明るく、元気な顔をして挨拶すれば、向こうも挨拶を返してくれる可能性はある。まあ、せめて、自然体でいられれば良いと思っている。

3つ目の、早起きをするのがしんどい。まあ、これは、本当は大切な事かもしれないが、夜更かしをする事ができないので、時間を削られてしまう感じだ。まあ、とはいえ、そんなにやりたい事があるのか、と言われればないのだが、今後も1日増えたりするので、益々、時間が吸い取られそうである。

とにかく、私は今、新しい「プロレス本ビジネス」に挑戦したくて、燃え上がっている状態だ。しかし、「経営」とか「ビジネス」という言葉が先に立ってしまって、プランがまだ1つ位しか出来上がっていない。それも、まともにやれば、数か月～1年かかるかもしれないし、コピー代もかかる可能性もある。そこは低コストでやろうと思っているが。

私は、自分のビジネスの方に神経を傾けるつもりだ。今の会社は給料をもらう口実だけではない。クビを切るならいつでも切ってもらいたい。私から辞めるかもしれないし。(終)

仕事道4の4（しごとみち4の4）

私の考えはコロコロ変わる。

例えば、やりたい仕事が「プロレスコラム」や「プロレスの本」だった場合、まだ kindle で挑戦するかどうかは決まっていな段階だが、失敗に終わる可能性は高い。稼げても小銭単位に終わる事になるだろう。だから、やりたい事だけで生きていこうとしても、その道もあまりにも大変なのだ。まあ、挑戦して経験しておくことは失敗に終わったとしても良いと思うから、kindle が可能なら挑戦はしておきたい。まあ、確かに一方でまとめる作業などは物凄く面倒かもしれないという自分もいるが。

すると、今の会社だけで、お金は稼いで生きていきたいと考えている。会社に行く理由はただ一つ、お金（給料）の為だけだ。とにかく自分を養う事だけに全てを集中していきたいと考えている。家賃は払えるわけだから、生活費と光熱費、等・約月10万～15万円を自分で稼げるようになれば、もう自分で歩き出せた事になるかもしれない。だから、これは長いプランで考えた方がいいと思う。また、やりたい事で生きていきたいとか、いくらお金（給料）の為に通っていると言っても、人間関係で嫌になるとか、連日の仕事で疲れ果ててしまうとか、これからもコロコロと言っている事が変わってくるはずだ。本気で死にたくない日もあるだろうし、孤独に苛まれる日もあるかもしれない。

まあ、話を戻すと、仕事で自分を養える段階まで来たら、また、経営やビジネスをしてやると思い直すかもしれない。今度はプロレスじゃないかもしれない。音楽でもないかもしれない。ただ、先の事はいいから、今はとにかく今の会社でお金（給料）を稼げるようになれと言いたい。まずその第1段階を突破しないと、次には行けないのだから。確かに新しい資格という道もあるかもしれないが、今の私では全てやる気がしないだろう。昔、パソコン検定の4級と3級だけ取れたが、それ以上は行けなかった。勉強は向いていない。CAD（キャド）も細かいから嫌だし、喫茶店も料理を作る事や、お客さん、赤字のイメージがあり、嫌だ。これはブーイングを食らうだろうが、今の私ではボランティアをする事さえ嫌なのだ、逆にミスばかりして怒られて辞めそうだから。マズローの5段階欲求の1段階でもがいている私が、恐らく5段階目の慈善活動やボランティアの活動は、少なくとも今の自分にはできない。それが、どこまで心を広く大きくしてくれるとしても。

最後の5段階まで階段を自分の力で（人の力も借りながらだが）上っていく事をやった答えは、もしかしたら、そういう心の幸せ・平安というものが最後の答えになってくるのではないかと今、書きながら思った。しかし、私は何度もそういう方向を目指してやろうとしては失敗してきたから、やはり、その心の幸せ・平安に辿り着くまでには一足飛びではいけないと感じている。まずは、自分を養い、それをキープできたら、もしかしたら慈善活動やボランティアという事をやれるかもしれない。ただ、人と接する事が無理なら駄目だ。今は、稼ぐ事に集中しよう。自分を養おう。第1、2、3、4、と欲求を満たしたら、5段階の欲求へ。そこはお金ではないかもしれない。まずは、会社はお金（給料）を稼ぐ為だけだ。（終）

仕事道4の5（しごとみち4の5）

私は、2016年5月末～6月頭の週から、今の会社に月曜日・金曜日に加え、土曜日も通う事になっている。この原稿はその前に書いているわけだ。週3日といっても、全部、午前中で10時～12時の2時間ずつである。

入社した当初は、週4ではあったが午後だけで2時間半、この時が一番給料をもらえていた。その分、昼近くまで寝られるからたぶん生活リズムは良いものではなかっただろう。

その後、人間関係に問題があったのか、朝方にしたいと要望したのかわからないが、午前中週4回を10時～12時まで通うようになった。そして、だんだん乗ってきて、火曜日の午後も付け加えた。しかし、かなり疲れてしまった。そして、好きな事だけして働きたいと思うようになってしまった。そして辞表を提出するという事態になったが、親切な上司に恵まれ、また週2の午前10時～12時までで通い始める事になり、週3を迎えたわけだ。

5年半通っていても、もう大丈夫だな、という波はない。風邪をひいている時もあれば、季節での影響、人間不信でイライラしている時、気に入らない人がいる時・・・逆にいい波の時もある。もしかしたら睡眠や疲れが少ない状態は、イライラや気に入らない人がいても、それ以上に効果を発揮して、コンディションは大切な部分かもしれない。

私なんか結構ひどいもので、あまり付き合いというものがないから、仕事を辞めるとい人がいても、「よし」と思う事がある。でも、最近はその思わなくなった。「どうせ、またこの会社に帰ってくるのだろう。」と思っている。1つには、上司がそれだけ温かい会社であるという事も言えるが、戻ってこられると、いつものイスの席にその人がどっかりと座って、自分は違う席に座る事になる事がある。確かに、それもストレスと考えた事もあるが、もっと人格が立派な人は、そんな事は全く気にしないでむしろ譲るという姿勢で、どれだけ、皆が気持ちよく仕事をしてもらえるか？という視点の方で物事を考えている。だから、私はせめて席がとられている位でいら立つ事はやめたいところだ。そう簡単にはいかないかも。

何か仕事場に行くのが人間関係であれ、違う理由であれ、嫌な時は、「これは山場だ、今は山場なのだ。」と最近考えるようにしている。ここを乗り越えれば、なんとかなると。そのアイテムは、1回使ったら消えるものじゃなくて、何回でも使っていい合言葉として使えると思う。ただ、私は日ごと寝ているうちにそんな合言葉は忘れて、嫌々通っていた。すると、出てくるのは、「給料の為に働いている」という考え方だ。この嫌いな人と仕事をするのも、仕事自体も、全ては「給料の為に働いているのだ」と考えると私は少し楽になる。いやだいが楽になる。だから、給料日が近くなればなる程、私は安定する。「給料の為」ではなく、もっと「人の為」とか・・・そういう事を言う人もきっといるだろう。しかし、私は正直、その感覚での仕事ができない。「自己中」なのかもしれない。ただ、最初は「お金」から始めて、それで好きなもの買って、今度、お金以上の「経営」もお金かもしれないけれど、似たような自分の好きな「ロマン＝充実」を手にして、最後にボランティアのような活動で自分も幸福になり、天国へ行けたら、それが理想の人生かも「自己中も消える？」(笑・終)

仕事道4の6（しごとみち4の6）

- ・世の為、人の為、お客様の為、に働く。
 - ・給料も大事だが、それより、働くのは、
人と仕事仲間と触れ合う為、会社の為、お客様の為、社長・上司の為。
 - ・人様・お客様の幸せに繋がるから、働く。
 - ・森羅万象（しんらばんしょう）（宇宙に存在する全てのもの）の為。
 - ・宇宙・世界・日本・人様・お客様・上司・仲間・親戚・家族・・・の為。
-
- ・コンディションを整えて、決まった時間に寝て、決まった時間に起きる。
 - ・夜11時30分には寝床に入り、朝8時45分には起きる。（仕事の日。）
 - ・人の事を好きになる。特に最初は仕事仲間・上司等を好きになるようにする。
 - ・嫌うとか・苦手な人をそう思わないで、温かい心で付き合い、仕事をする。
 - ・人に失礼な態度はとらない。
 - ・きちんと「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございました」と挨拶する。
 - ・日本という国に危機感を持って、我が国をよくする為にも働く。
 - ・今の会社に全精力をかけて仕事する。
 - ・今の会社に全力で一社員として働く。
-
- ・まず、会社に、週3午前を通えるだけのスタミナをつける。
 - ・2016年9月～週4午前を目指す。
 - ・週4午前で、冬を越す。
 - ・来年の6月頃～午後、もしくは違う仕事を入れるか上司と相談する。
 - ・自分を養えるように稼げるようにする。
 - ・今、34歳、4～6年間で、38～40歳で自分を養えている状態にする。
 - ・慈善活動やボランティア活動に参加する。
-
- ・まずは、意識を「世の為・人の為」に働くという意識を持つ
 - ・常に温かい心をイメージする。
 - ・仕事等に対して、コンディションを整える。
 - ・人に感謝する。
 - ・人の為に生きる。
 - ・真面目に生きる。
 - ・時にはリラックスする。
 - ・森羅万象を愛する。

仕事道4の7（しごとみち4の7）

自分も昔、週4の午前と、そのうちの午後1日フルで働いていたから、今回、仕事を週3回に増やすのも、ある程度楽勝だろうと思っていた。

しかし、新しく入れた、土曜日の仕事についにバテタ。その日、残り1時間ちゃんと仕事は続けたが、家でも疲れ果てた私がいたのだ。計算が甘かったと感じた。まず、これでは2016年9月から火曜日もう1日増やすのも、少し難しく感じているし、「世の為、人の為」「お客様の為」と思っても、自分のコンディションが良くなければ、それを感じて仕事をやる余裕はないなと感じた。更に、ボランティア活動なども、今の自分にはとてもじゃないが、両立するのは不可能だと思った。まずは、目の前の、月・金・土の午前にだいぶ余裕で通える、という自分から始め、なんと言ってもコンディション作りの重要さをヒシヒシと感じた。コンディションというと、イチロー選手やスポーツ選手で言うと、準備である。

どうしても自分のスポーツ観戦などで、試合開始時間も遅いという日は、根性で頑張るしなくなってくるが、普段の日は、私の場合、家でのデスクワークは程々にして、ラジオ体操や筋トレを軽めにこなして、疲れのない体を作っておくのがいいと思う。

もう極端な程でいいのだ、私は毎日ホームページに日記を書いているが、それをしない位でもいいから、仕事の月・金・土に最高のコンディションで臨みたい私がいる。そして、私の中の目標の1つでもある、2016年9月から月・火・金・土の午前というのも達成したい。冬までにそこまで行っておかないと、あまりにもスローペースの自分を感じてしまうのだ。でも、そう思いながらも、ちゃんと自分の疲れ方と相談して、9月になっても増やすのはきついと判断した場合は、月・金・土の午前だけでもいいかもしれない。

コンディションという話題の中で、私は、朝8時45分～朝9時に起きて、朝10時～昼12時まで仕事をするのだが、この午前8時45分に気持ちよく目覚めるのを目標にしている。大抵はそんなに上手くはいかない。9時や9時5分の目覚ましで強制的に起こされる事もある。逆のパターンも怖い。朝6, 7, 8時位に起きてしまうと、その日が1日中ダルクになってしまう。つまり、前日、夜寝るのは午後11時頃の報道ステーションのスポーツコーナーを見てから寝るというパターンも多い。ただ、私は早く寝るようにしたりするつもりはない。先ほども書いたが、早起きすると1日中ダルクなるからだ。それでも矛盾しているが、仕事が始まるギリギリのタイミングで起きて通っているのだ。

さあ、あとは、私が最高の体の状態を作っておく事にしか道はないと思う。先程書いたが、あまりデスクワークとか作業は疲れるからしない方がいい。金・土・月は仕事から帰ってきたら、電気を一気に消して、気が済むまで横になってスタミナを回復した方がいい。疲れを取った方がいい。その中で少しだけ、何かやろうと思えばすればいいし、やらなくてもいい。

私は、本当はグダグダしているのは好きな方ではないのだが、何度も書いているようにコンディションの為に、とにかく休む時間を作るという事が大切だ。今は月・金・土に通う事に集中すればよい。9月から火曜日の午前もというのはまだ考える必要はない。(終)

仕事道4の8（しごとみち4の8）

誕生日発表のこの作品の（仕事道シリーズ）は、最後の文になるかもしれない。

私は、今日は月曜日という事もあって人が少なかったのもあるが、苦手な人なども欠席していた為、体調が良かったし、気分も良かった。

仕事の上司からも「岡本さんは必要な戦力です。」と前から言ってくれて、それが例えお世辞だとしても嬉しいし、この会社に居たい、残りたい、と思わせてくださる。

今日も、近所にけっこう給料の高い朝9時～夕方5時の裏方での作業を上司が紹介されていて、興味がある方は聞きに来てください。と言っていたので、席が近かったので、眺めていたら、もちろん、私はスタミナ的に朝9時～夕方5時の週5なんて通えるわけがないので、眺めていただけだったが、上司は「岡本さんはうちにいて欲しいな～」と冗談めかしておっしゃってくださるので、やはり、それで、今の会社でやっていきたいな。という気分になるものだった。

話は変わるが、今の仕事はこれからも続けたいと思ったり、辞めたいと思ったり、ストレスやイライラを感じたり、たまに喜びを感じながらやっていくと思う。悩んだ時はスタッフさんや上司に相談して悩みを聞いてもらえるかもしれない。ただ、何か自分の好きな事をする為に辞めたい、という考えがなくなった可能性がある。やりたい事は別にお金が入らなくてもいいのだが、私は2つある。1つはプロレスコラムの事。2つは音楽を完成させる事。とりあえずこの2つは、仕事と並行して続けられるやりたい事と判断したので、やりたい事の為に仕事を辞める事は多分ないだろう。辞める要素で考えていくと、1つは、人間関係。2つ目は、疲れ。3つ目は、生きている絶望感。4つ目は、孤独感。5つ目は、家族関係の事（家族との人間関係やお葬式出席等のストレス。）6つ目は、早起き。7つ目は、仕事の内容・・・と挙げればキリがない。今日はたまたま苦手な人もいなくてストレスも少なかった。あと、新しい若い人達も苦手、それは多分お互いに。

ようやく5年半を迎えた。上手く行けば約束の7年・10年、それ以上。今の仕事に通うという事ができるかもしれない。38歳～40歳位で（今34歳）自分を養う（賄う）事が出来るかもしれない。とにかくスローペースでいい。こんな事を書いているが、何故かはわからないが、私の体調・元気みたいなものは良くない。眠くなっている自分も感じるから、午前仕事してきて、午後作業して、その後、自分の音楽を唄って、ご飯の時間以外休みなく活動しているのが原因かもしれない。本当は午前仕事に行ってきた月・金・土の午後、本来は横になるなど休まない駄目だ。今はこうして週3にして苦しいけれど、この位の負荷はかけないといけない。それにしても体調が悪いのだよな。

それでは、まだ書くかもしれないが、（仕事道シリーズ）最後として、今、5年6か月半だ。とにかくあと半年で6年経過・7年目に入る。まだまだ、格闘は続くと思うが、この続けた事が次の障害物を越える時に支えになったりするものだ。だから、仕事や趣味を中心として目標を達成して、人間関係もなんとかして、いつか、自分を養う。次作にも期待を（終）

人生の意味

私は、昔から「人生の意味」によく悩んでいた。

今は、歳を重ねたか、仕事などで精神的に安定したか、わからないが、

生まれ → 生きて → 死ぬ

という、あまりにも単純で、シンプルなものしか思いつかない。

「何故、生きるのか？」と言われると

とにかく、今、俺はここで生きているから、生きている。

(もう少しフォローすると、今、俺はここで生きていて、呼吸もしているし、自殺もしたいと思わない、痛い・苦しいとかも嫌だし。だから仕方なく、もしくは普通に俺は生きている。)

「何の為に生きているのか？」と言われると

それは使命や生きがいかと反論する。(哲学的に言えば、何故、生きるのか？と同じ答えになる。)

生きがいは何か？

どうせ死んでしまうと考えると虚しくなるが、「書く」とか「読書」する事が今は楽しい。

使命はあるか？

今のところ、使命というものは何も感じない。「書く」とか「読書」は楽しいけれど。

死について？

まだ、34歳だと、親などから聞く、60代くらいの死が間近に迫ってくる感覚。という言葉に対して、俺はまだまだ生き続けるのではないかと死を感じる感覚はない。

最後に死んだらどうなる？

わからない。でも、俺の人生は死んだら、一応、俺は終わりくらいしかわからない。(終)

だいたい同じ毎日について

私は今、自分がやっている事を挙げるとすると、「日記」「こうして本などを書く事」「読書」「コラムを書く事」で、これを私は多分、人生でやっていきたい事だと思っている。

本当はこれで収入を稼ぎたいと思う事もあるが、今は実力もないし、今の会社に一生お世話になるかもしれない。

たまに、自分の心が趣味で圧倒された、深夜などは、いかに今の会社を辞めて、独立したいか、等と考えてしまうが、仕事と趣味のバランスを取りながら通うのがいい。と普段（落ち着いている時）はそう思える。

正直、私は「読書」好きだが、本当は旅をしないといろいろな案（アイデア）が浮かんでこないのではないかと感じている。それでも「読書」の方が先行してしまっ、目的のない旅などにはいけば、何かを得られるのに、行かない。もったいない。面倒だ。

話しを戻そう。すると上記した趣味に加え、「仕事」という事になってくる。

最近「ゲーム」をするなら「読書」するとか、「書こう」と思うようになった。これをもし、5年、続けられれば、仕事も10年位になり、改めて今後の人生について考える事になるだろう。

私は短大を出ているが、その後、職にもつかず、ブラブラしていた、音楽教室や格闘技の教室にも通ったがすぐ辞めてしまった。そしていろいろ模索していたが、20歳～24歳までは、あまり不明なのだが、24歳からダイケアというところに通った、そこで、一人で勉強したりして、あまり自慢できるものでもないだろうが、パソコン検定の4級と3級を取った。そして、作業所で働きだし、嫌になって6か月で辞めてしまったが、ダイケアと作業所合わせて4年位過ごした後、今の仕事についた。それが28歳の2010年12月1日である。（この辺はいつか私も自叙伝としてまとめたい気持ちもある。）そして今の仕事は5年半続いている（今、34歳。）

仕事がない日は、いつもの喫茶店でアイスコーヒーとフレンチトーストを頼む。女性のウェイターさんが多い店で、ずっと行っているから、何人かのウェイターさんから、「いつもありがとうございます。」と言ってもらえる。私は嬉しい。

仕事がある日は月曜日と金曜日だけで、この本が出ている頃には、土曜日も増えているだろうが、マクドナルドかケンタッキーを買っている。

午後は比較的、外に出て、スターバックスやファミレス、喫茶店などで・・kindle本（電子書籍）を1時間読む。

毎日、業務スーパーで買って、夕飯はササミ、コーン。寝る前は、カップラーメン、リンゴやみかん、豆腐、納豆。を食べる。プロテインも1日2回飲んでる。

そして、普段はほとんど「読書」か「書いている」もうそれが自分のライフワークかもしれない。そして、合わせて仕事に行くとか、たまにプロレスを1人で観戦しに行く等だ（終）

「読書」は卒業できなかった。私の体質。スタバパニック。

毎日、たくさんの本を読んで、この日もスターバックスで kindle 本（電子書籍）を読んでいたが、もう本を読まなければいけない生き方がいい加減、嫌になってしまった。私は kindle の電源を切り、本屋で羽生善治さんの「大局観」だけ買って、とにかく、家に帰って作戦を考え直す事にした。

まだ、その翌日にこの原稿を書いているが、私は「日記」「読書」「ゲーム」「仕事」「プロレスコラム」で基本的に自分の人生を組み立てる事にした。

「日記」は、作戦、悩み、対策・・・等、なんでも書けるものとして、パソコンで打ったり、ノートに書いたりする。これは私の頭の中を整理するものとして重要なポジションで外せない。「仕事」が一番重大だが、ここでは外す。「プロレスコラム」も強制してやるものではないので一応、外す。すると、私は「暇」になるか、「読書」「ゲーム」をするかが、プライベートとなった。でも「暇」に関しては、ここでは書かないが、何も物がなくなれば「暇」になるから、無理して「暇」を選ぶ必要はない。すると、テレビやインターネットを少し確認程度のためにしか使わない私は、「読書」か「ゲーム」が趣味、プライベートとなった。

そこで、「読書」であるが、私は何冊も買って、それを1冊読み終わってから、次に行かないで、ある程度読んだら違う本を読む、並列読みという読み方をしていたが、これをまずやめて、1冊ずつ最後まで読む形に変えた。それから kindle 本を買う事を、今の段階では中止しようとしている。なぜなら、普通の本と kindle 本で2冊読んでしまうし、kindle 本では0円～200円程度の小説を読んでいたのだが、無理してたくさん読んでいたら、冒頭のスターバックスの自分じゃないがパニック状態に陥ってしまったからだ。kindle コーナーには「ジャイアント馬場さんの本」や「力道山さんの本」もあったが、1度、普通の本でも読んでいるし、高いお金を払うのに、また、スタバパニック状態に陥って読まない事を考えると、まずは、普通の本で1冊ずつ読んでいく事に決めた。

確かに、昨日の段階では私は、本を読む事はもうほとんど（ほどほどに）やめようと思っていたが、今日「暇」と「ゲーム」で時間を潰しているうちに、まず、どうしても羽生善治さんの「大局観」が気になった。この1冊だけ読んでみよう。と「まえがき」を読んで、次に恐る恐る、第1章を読み切った。そして、無理なく第2章まで読んで、今日はもう読む事をやめた。こうして、また、誕生日記念のネタになるような「読書は卒業できなかった、私の体質」という事で書いているが、もし神がいるなら、あのスタバパニックは kindle 本の「小説」を無理して2時間なり読む事をやめさせてくれたのだと思う。Kindle 本自体をやめろとか、普通の本にしても並列読みをやめろという意味ではなかったかもしれないが、今日までの自分はそのように大げさに受け取らせていただいた。

私を知っている人間は私しかいないわけだから、読書の規則などは自分で決めればいい話だ。あとは、せつかく今日、趣味が「読書」「ゲーム」になったのに、また「書く事」等に膨らんでしまいそうで怖い。ただ、逆に自分の趣味の人生はそういう繰り返しかも（終）

「読書について」。(ゲーム機故障、ゲーム卒業。)

「プレイステーション VI-TA」というゲーム機が、とにかく故障した。いや、故障してくれた。これで、私はもうゲームから卒業できる。

読書について書いていきたい。

その前に私の今の状態が変わったので、まとめておく。

まずは、先頭が「仕事」であり、趣味が「日記」、「読書」、そして一応「プロレスコラム」である。並べると、

「仕事」「日記」「読書」「プロレスコラム」である。

で、読書について書くと、やはり、よく読む分野はスポーツエッセイの分野で、一番に「プロレス」に関するものが多い。

次が、「野球」「サッカー」「総合格闘技」といったものが多い。

最近はあまり読まないが「リーダー」「経営」「自己啓発」「人生論」「仕事論」系や、「小説」といった類も読む。

私が読みやすい小説家は「太宰治」や「坂口安吾」といった辺りだろうか。

なんというか、波長が合う。陰性であるから。

一時はそういう暗い分野の人を毛嫌いする傾向もあったが、最近はまだ普通に読めるようになった。

ただ、小説も最近はあまり読んでいない。

最近の小説に関しては全くといっていい程、読まない。

で、話しは変わるが、最近の本を1冊ずつ読むようにしている。今日その方法で2冊の本を読む事ができた。複数ところどころに読む、並列読みをしていたのだが、頭に入っていない。それから、1冊1冊を大事にしなくて、読み途中があるのに、すぐ新しい本を購入してしまう。

私はエッセイと呼ぶかは別にして、こうして小冊子のような本を書いているが、小説も本当に短編で書いたりする事がある。でも、他の本を1冊ずつ読んで、小説は読まない、もしくは後回しという姿勢でやっているから、小説を書く腕前が上達しないという面もある。小説とは、知らない言葉を知れるし、何かの本では、心理学を学びたいなら小説を読みなさい。という文があった。

私は、今、「プロレスラーの本」を読み途中で、次のストックが「サッカー選手の本」だ。分厚いがこの2冊の本を、1冊ずつ最後まで読み進めたいと思っている。そうしていると、本屋に楽しそうな新刊が出て、買ってしまいそうだが、あまり無理はしなくていいが、私は1冊ずつにこだわっていきたい。あまりにも難解だとか、趣味が合わないとか、長すぎる、つまらない、という場合は読まずに売ってしまうのも1つだと思うが、そのためには本屋にあえて寄らない工夫などもいいのではないだろうか。私も単行本や文庫だけでなく、小説も読みたい。そして、この章は読書の話だが、書く事につなげたい、書く事についてもまた(終)

路頭に迷わないために、「仕事」「お金」「節約」等を考える。

私は、普通の家に暮らしていたが、そろそろ貯金が尽きて、路頭に迷うとか、家族に迷惑をかけないために、だんだんお金について本気にならないといけない。

ただ、まず、足元や目の前の事を見た時、自分にできる事は、今の会社で働く時間や日数を増やして、アルバイトなどに契約を変えるなどしながら、今が、5年半。そして7年、10年・・・上手くいけばそれ以上、通い続けるという事が必要になってくる。10年までいければ、違う仕事もしていくかもしれないし、今の会社だけですむのかもしれない。だから、今のうちから（34歳）将来への（すぐかもしれない）危機感を持っていなければいけないが、心配しすぎて、昔みたいに「乞食や浮浪者、ホームレスになるのではないか？」と考える必要はない。実際に浮浪者になれば、相当困るだろうが、それはその時考えるしかないと思うのだ。甘い蜜を吸って生きてきたから、この道になったら、それはしょうがないと思うしかないではないか。それは意外に人生の本質を見せてくれる世界だから、今はそんな悠長な事を言っているが、下手したら充実した人生になるかもしれない。

でも、私はその道を歩きたくない。そうなりたくなかったら、働く事しかないではないだろうか。そうすれば給料が入って、お金が手に入って、金銭的に親から自立する事もできる。

今の私はまだ、ハングリーになりきれていないが、お金がなくなるかもしれないのだ。それを突き付けられたら、働くしかない。でも今の私の仕事へのスタミナなどは冷静な目で見た時ついていけない。ただ、デスクワークであれば、「今の会社」で相当磨く事ができるのでどこかに（この歳で取ってくれれば嬉しいが）取ってくれる会社があれば、今から約5年後の38歳の時に、「今の会社」で働き続けるか、それプラス違う「仕事場」や「アルバイト」等で稼ぐ事ができるかもしれない。

そして、最後は「節約」。やはり、今の段階では朝・昼を外で食べてしまうのはしょうがない。本はできるだけ図書館で借りるなどの工夫をしたい。あまり無理をする必要はないと思うが、プロレス観戦でさえ迷ってしまう。行くべきか、節約するべきか等。

いつかの甲子園3年生の1人の球児が、「プロには行きません。さんざん、親に今まで面倒を見てもらったので、消防士になって恩返しをしたい。」という事を言っていたが、俺もそろそろお金や仕事に対して本気にならないといけないな、と感じた。

今5年半、働いている仕事場でさえ、少しの緊張感がある。ただ、これは単純に私が朝ぎりぎりに起きてしまい、遅刻・寝坊しないかというところで、前日から緊張感を持っているのだと思う。「今の会社」でも私は立ち上げ当初からいるが、いろんな人が入り、いろんな人が辞めていった。でも辞めて新たな、もう少し給料が高く、朝も早いところで働く事は、緊張感も伴うだろう。私は「今の会社」にずっと居たいと思っている。今は。

話しは逸れたが、俺は自分で自分のお金を賄っていきたくと強く感じている。そうしないと、本当に路頭に迷う事になるから、ここは真剣勝負だ。緊張感も大切、味方にする。

ただ、今は、「今の会社」でスタミナを作り7年・10年、やる事が大事。（終）

「プロレスコラム」でビジネスは成り立つか

私は、ホームページで「プロレスコラム」を書いているが、夢を言うと、これで独立できて今の会社に行かなくてすむならいいな、と思っている。

「プロレスコラム1本」でそれを武器にして、kindleなり、自分のHPなり、楽天市場等で売る、そして稼げるという事になったら嬉しい。

まだまだ、ビジネスについて、勉強しなければいけないと思っているし、それは勉強しなくても、人に相談しなくても、本を売るという事はたいして赤字を生まないものと思っている。

そして、具にあたる、「プロレスコラム」に関しては、おおよそあと5年、約38歳~40歳まで煮込めばいいと思っている。

「プロレスコラム」を売る場合、いくらで売るか、というところは多少問題になる。1000円。2000円。なのか、まとめて、10000円なのか。

私は生徒をとって人に教える。というのは多分、あまり向いていないと思う。あと、自分のコラムの書き方は自分で生み出したものなので、教えようがない。ただ、私は勉強が苦手だったので、わからない人に対して、自分が一生懸命に下から、下から教えるというタイプな気がする。

それから、余裕が生まれたらでいいが、プロレスでもなんでもいいから本を書いて出す。売るといのもひとつだと思う。

「今の仕事」と「プロレスコラム経営」との考えだが、私はどうしても「今の仕事」を好きと思う事ができない。もし「プロレスコラム経営」1本に絞れたら・・・それでも私は日本中を飛び回ってプロレスを観に行く事はないかもしれない。でも本当に1本に絞れて、お金も入ってくるような事が起きたら、行くかもしれない。

私は、どうしても全てを1人でやってしまおうとする。人に相談しようとしな。だから、何も動かない。

私は1度位、「経営」と言うものに賭けてみたいのだ。昔聞いた話では準備ができれば経営しようでは遅いとも聞いた記憶がある。スティーブ・ジョブスだったかもしれないが、もう動いている。私は40歳位まで「プロレスコラム」の準備が整ってから、出発しようと考えたが、今はそうすべきか、それとも34歳現時点でジャブ程度の経営をしてみようかと思っている。赤字の出ないような小さな経営から、膨らませていけばどうだろうか経営書なんて読んでどうせわからないし、「プロレスコラム経営」等の方針は、自分の方がわかっているのだから、自分でもっともっと1人で考えて、時に人に相談して1歩踏み出す勇気があってもいい。そこで大事なのが作品(具)である。それがちゃんとした形でなければ買わないだろう。先ほど経営書等は読まないと言ったが、リサーチみたいな事も必要なのだろうか。私は、普通に書いた「プロレスコラム」や「プロレス等の本」を作って売りたいだけなのだ。コラムだってやってから書けるようになった。難しいけれど経営もそうかもよ(終)

デーモン（悪魔）との付き合い方、「まず、無理だ」から考える方がいい。

私は、すぐに突拍子もなく「夢」や「目標」を描いてしまう。それをすぐに行動に移せて、外に出られる人ならば文句もない。

私は、どこからか、できるだけ自分で考える癖をつけてきたので、人に頼ってはいけないのではないか？という考えが消えないし、最近では、話してもこの人の場合は相談に乗ってくれて、この人の場合はストップをかけられるだろうから、と、人を選ぶ傾向もある。

更に、言えば「実行力」もない。最近ようやく少しずついろんな事ができてきたという位である。

HP「YU HOUSE」が形になったという事などは、最近の中では一番頑張ったかもしれない。ただ、楽しい作業であったからできた、という事は言える。

もし、音楽のノウハウが上手くできたら、人に教えるという事もできるのかもわからない。もしかしたら、こうして言葉だけの、「音楽の先生」という苦手なプランを、歳を取ればできるかもしれないと考える事も、私のデーモン（悪魔）的な考えとさせて欲しい。

私は、今1つの作業に集中しているがそれは置いといて、音楽の未完成曲を全部アカペラで歌を入れて、いつかは、全部、アレンジの作業を行って、インターネットで無料～100円出す等というプランも考えたが、只今これは保留にしている。これも本当はデーモン（悪魔）なのである。でも、もし、する事がなくなったら、そして、私がついにいろんな事を達成する力がついたら、行動に移すかもしれない。デーモン（悪魔）だけど、保留だ。

それから、これは完全にデーモン（悪魔）で一夜を苦しんだが、昔、14年前に作った自費出版のCDアルバムを100円で公園やバザーで売れないものかと考えた。これも、やるなら1人でやらなきゃ駄目だな、と思ってしまった。そうこう思ううちに追い込まれて、ビジネスであれ、そんなお金を稼げたらいいけれど、お金に奔走している意味がわからなくなってきた、定期収入ならともかく1枚100円×50枚で5000円。私の中では大金だが、無理だという気持ちに案の定押しつぶされた。これもデーモン（悪魔）である。この場合は単によくあるケースで「臆病」と言えるかもしれない。「何の為に金を稼ぐのか？」というところも少し問いになってくる。

デーモン（悪魔）には、今まで散々苦しめられた。ボクサー、ミュージシャン、プロレスラー、女性への告白、ニューヨークに3年滞在する、シンガポールに旅行する、インドのガンジス河へ行く・・・等。当然全て叶っていない。だから、私はこれからもこういうデーモン（悪魔）と夢や目標、とを区分けして、すぐに分別できるようにしたいと思っている。元ヤクルトの宮本慎也さんも著書で「超マイナス思考」という表現を使っていたが、何か燃えている時にこそ「まず、無理だ」という考えから入っていくのがいいと思う。その上で捨てるのか考えていくのか。パソコンやノートなどを使う必要があったら、分析して冷静に考えるのがいい。自分の場合はまずは1人で考えてみる。行き止まりにいつてしまったら相談する。今後は一層、デーモン（悪魔）には気を付けて、冷静にいろんな事に取り組んでいきたい（終）

「ボランティア活動」について

私は、最近、ボランティア活動というものに興味を持った。しかし、甘くないのは知っているし、事実、ボランティアというものを、皆さんがどういう意図で（例えば、お金や給料をもらう仕事ではなく）ボランティアで働く意図がわからなかった。事実、今もわかっていない。今も、テレビで阪神淡路大震災や東日本大震災のボランティアの活動を見て、GM（ゼネラルマネジャー）やスーパーバイザーがいて、とか形から入るやり方に、テレビを消してしまった。話は若干逸れるが、自分の音楽やプロレス等・・・なんでもいいが、何かを実現したい時に、プレゼンテーションとか形から入るよりも、もう私の場合は自分流で突っ込んでしまった方が性に合っているのだ。

今日は役所でボランティアのチラシをいただいてきた、私の母もやったという「点訳」という目の不自由な方が指でなぞり文字を理解する、それを体験する事などが載っていた。

ボランティアを難しく考える必要はない。ただ、「厳しさ」と「責任」を果たせないのであれば、迷惑だから軽はずみにやらない方がいいだろう。せめて、ボランティアに何を求めているのかを知りたいところだが、ボランティアに憧れるから。という動機で始めて、だんだん見つけていくという方法がいいのかもしれない。

もちろんお金（給料）はもらえないし、それも求めているのは正直なところだ。ただ、私にも生活と肉体の限度がある。ただでさえ、普段の生活で仕事をする事が精一杯だというのに、ボランティアまで手が回るか。こうして書いていくと、ボランティア活動はものによれば、難しいものもあるかもしれないが、人と触れ合い（私はこれが苦手なのだが）何か幸せなようなものをいただけるような気がするのだ。動機は多分そこにしかない。更に言えば、世の為、人の為に働く（ボランティアを含む）という、母方のおじいちゃんの言葉がある。それを強く感じるのだ。すると、自分は大切だけれど、その上で、もしかしたらそれ以上に、人様が大切なのではないか。という事を感じている。仕事をごまかさず、嘘がなく、一生懸命やれば、仕事では怒られる事等ないのではないだろうか。ただ、今のテレビでは一生懸命やりすぎたリーダーの部下が、どんどん辞めていったらしいので難しい。

まあ、とにかく、この34歳の誕生日を前にして、ボランティアに興味を持っている自分がいるという事だけは覚えておこう。しばらくは、お金を稼ぐ、会社で働く事になるから、筋トレも音楽アレンジ教室も、掛け持ちが続かなかった自分としては、かなり自分の荷物になってしまうと思う。本当は自分を養えるようになってからボランティアを始めたいが、話を聞きにいくだけでも違うかもしれない。例えば、私は散々、本は読んできた。さっきのテレビと一緒に参考や栄養にはなるが、例えば、午後の空いている日に具体的に参加して作業して、あまり教えるとかそういう立場じゃなくていいから、車いすを押させていただく事でもいいからやってみてはどうだろうか。まずは、とにかくボランティアセンターに伺う第一歩を踏みしめて話を聞いてくる事をやってみたいものだ。ただ、今の順序としては、会社の仕事のコンディション作りを優先し、本当に必要となれば、やってみたらいい（終）

お葬式について

私が、今、親族の誰かが亡くなり、お葬式に行くか？行かないか？と言われたら、行く方を選ぶと思う。

段取り待ちや、挨拶しても無視されたり、一人ぼっちになったり、お焼香や骨焼き、そして、その後の食事での語らい等、にかなりの抵抗感を感じる。まあ要するに嫌な思いをするわけだ。

私の親戚は、たくさんいる。これはもう逃げてはいられない、と自己中な発想だが、思った。本当は亡くなった方への最後のお見送り、お別れという意味でいけばいいのであって、本来はその他の嫌な思い等は、あまり感じる必要はないのだが、感受性の強い私は人一倍疲れてしまう。

ただ、私の今の比重は、出席する方に傾けたいと思っている。

去年、母方のおばあちゃんが亡くなった時、新幹線に乗って、なんとかおばあちゃんの家まで行って、おばあちゃんの棺の顔を見る事まではできた。しかし、その後、夏の暑い時期だったのも原因だが、ソワソワするのは私だけではなく、出席している人全員が多少はソワソワしていて落ち着かないという中で、私は自分の事を考えていた。ネクタイが結べないけど頼る人がいない。とか、挨拶しても無視されるとか、話し中に相手がどこかへ行ってしまったりとか、自己中心な発想になっていた。そして途中でホテルへ帰った。

だから、次回もあまり挨拶等も出会えて、親戚とワーッとなる事などもしないで、棺を運んだり、段取りで人を待ったり、誰とも話さない孤独感に襲われたり、普通につまらない、帰りたい、と思ったりするだろうが、最後のお別れの為に「ありがとうございました。」を言いに行く、その親戚やお客さんというよりも、亡くなった方の為だけに行くという姿勢を貫きたいと思っている。

私は、お葬式や結婚式やパーティーといった類の物が苦手だ。私は、今、この自分の家周辺であまり家族ともかかわらず、職場をもうひとつの家として、こちらで住む事でバランスを取っている。当然、独り暮らしなのだが、あまり、家族と話すとかロクな展開にならない事が多いので（ただ、皆、歳を取るから今後の相談などは多少、しょうがないとは思いますが、）そういう話を中心になってしまう。そこへきて、親戚のお葬式というものは、どちらかという家族的な物であり、苦手分野だ。話は逸れるが、私は、ただ、年末と正月だけは少しだけ実家に帰ろうと思っている。今年、一人で年を越したら、かなりの孤独感に襲われたから。

お葬式の話に戻ろう、最近はまだ「しょうがない事」と思っている。「殻を破るつもり」など求めないが、これから生きていく上での、お葬式の段取りなども学んでおいた方がいいと思う。私はただ行って、誰とも話さなくていいから、案内人の方について歩いて、早く切り上げて帰ればいいのだ。お世話になったおじちゃんや、手紙を交換してくれるおばちゃんや巨人戦のチケットをくれたおばちゃんや、父方のおばあちゃん等・・・その人の為だけにいけばいいのだと思う。あとは今後、その時が来た時に考えて、比重は「出席する」だ（終）

まとめ

こうして、34歳を迎えた。

今年は、家族が段取りをしてくれて、焼き肉屋で誕生日の6月19日（日）に祝ってもらえる運びとなった。私は嬉しい。

さて、私は、以前の作品では偉そうに、まるで自己啓発まではいかないが、「こうした方がいいのではないか？」というような作品を作っていたが、今回の「仕事道（しごとみち）」や「エッセイ」を振り返ると、仕事の事や日常の事、つまり自分の事について書いていると思う。「こうした方がいいのではないか？」という偉そうな事は書いてないつもりだし、自分もそんな本は書きたくなかったし、素直に自分の事を書いた。

私も仕事などちょっと今後の計画（プラン）を整理したい。

今の仕事	月・金・土 午前10時～昼12時
家でのプロレス作業	趣味で目標
歌の吹き込み	趣味で目標
プロレスコラム	趣味
日記	趣味
音楽最新歌詞集	趣味
読書	趣味

と言う感じだと思う。最後の読書の存在が大きい。私はずっと本を買って読書をしていたが、「節約」を始めた事により、図書館で借りるようになった。やはり、難しい本は自分に向かないと思い、最近は簡単な本を借りている。本がなしで暇や退屈を乗り越えられたらいいが、そう上手くいかないのも、やはり本は必要と感じている。

仕事は増えた。週2から週3へ、これでまた1年過ごしてもいい位に考え方を変えた。

趣味でも目標を持つものとしては、プロレスの原稿の束を完成させる事と、音楽の「隠れBEST」というのを、とりあえず、アカペラで音源にしたいと思っているが、まずはプロレスが先だ。

プロレスコラムは書くペースが掴めてきた。この調子で書いていきたい。

あとは、私が今34歳で38歳～40歳で、自分を養えるようになりたい。という目標があるが、ノロマのドン亀ペースで進んでいるので、あまり甘えられないが45歳位にまでなってしまうかもしれない。それはわからない。

最後に、このエッセイ集に協力してくださった方、家族、そして、仕事場で「岡本さんは会社に必要です。」と言ってくださる上司やスタッフの皆さんに「ありがとうございます。」と言いたい。上司の言葉で「岡本悠として生きていけばいい」という言葉を大切に（終）